



たかおかだより

7号

(文責:佐藤) [高丘小 Facebook ページ](#)



9月の校長講話より（抜粋）

高丘小学校の花壇には「カンナ」が植えてあります。みどりの時間にも、皆さんに草取りをしてもらい綺麗なお花が咲きました。「高丘小学校といえば『カンナ』が咲く学校」と言われています。

高丘小学校では、平成21年頃から「カンナ」を育てているそうです。なぜ「カンナ」を大事にしているのか調べてみると、「カンナ」に何らかの「願い」を込めて育てていることが分かりました。「カンナちゃん」というマスコットがありますが、平和親善大使だそうです。「カンナちゃん」のキャッチフレーズは、「世界中の人の心に希望と平和の花を咲かせましょう」です。

「カンナ」を育てることは、「平和」や「明るい未来になるように」という願いなどが込められていると分かりました。

さらに、どうして「カンナ」には「平和」とか「希望」という願いが込められているのか調べてみました。今から81年前の8月6日に、広島に恐ろしい原子爆弾が落とされました。原子爆弾が落とされて、熱や爆風などで命を落としたり、いろいろな物が壊されたり、目に見えない放射線という人間の体を怖い病気にしてしまうものも広がりました。その結果、広島では、「この先、75年間は何の草も木も生えることがないだろう」と言われました。そんな中、原子爆弾が落ちた1ヶ月後に、「カンナ」が咲きました。この「カンナ」の花は、「どうしよう、悲しい、苦しい」と思っていた広島の人に、生きる勇気や希望を与えてくれました。この写真を橘凜保さんという方が見て、とても感動し、「焼け野原になっているところに、一生懸命生きて花を咲かせようとしている『カンナ』を世界で広めたい」と考え、「カンナプロジェクト」を始めました。平成19年に「カンナ」を平和の大事さを感じられる「シンボル」にしようと考え、子どもたちと一緒に「カンナ」を植える活動をスタートしたのです。橘さんは「カンナプロジェクト」で、「カンナ」を日本中に送ろうと思いました。しかし、「カンナ」は寒さに弱いので、「雪が降る寒い地方などでうまく育てるにはどうしたらいいだろう」と悩んでいました。そのとき、須坂市の花屋さんが「冬はそのまま地面に植えておくのではなくて、1回球根を掘り上げて取っておいて、次の年また植えればちゃんと咲きますよ」と教えてくれました。なので、この「カンナプロジェクト」と須坂市はつながりが深くなりました。こうして平和を願った「カンナプロジェクト」は、長野県須坂市から全国に広まっていきました。「カンナプロジェクト」がスタートして2年後には、高丘小学校は「カンナ」を植えていたのです。カンナは平和を願う大事な花として、高丘小学校でずっと育ててきました。ここに、「カンナ」ちゃんのプロフィールがあります。その中に、「平和な地球を作ること」と使命が書かれています。また、「カンナ」ちゃんの好きな言葉は「恕(許す)」という字です。「カンナ」ちゃんは、「平和を皆さんに届けたい」と思っているのので「恕(許す)」という言葉に大事にしているそうです。意味は、「相手の立場に立って考える思いやりが恕(相手を許す心)」です。自分がされて嫌



なことは他の人にもしないことです。普段の生活の中で相手が叩いてきたり何か悪口を言ったりしてきたとき、やり返したり言い返したりしたらあなたも同じことをしたことになってしまいますね。ですから、「先生に相談する」「その場を離れる」など、他の方法で対応しましょう。

今も、「カンナ」は玄関前の花壇に咲いています。高丘小学校を含め、「世界の平和が続くように、自分ができるところを」「相手が嫌なことはしないようする」など考えて行動すると、高丘小学校がもっと素敵になると思います。

保護者の皆様、地域の皆様 学校参観にお出ください

日頃より、本校へのご理解をいただきありがとうございます。学校を知っていただくために、学校行事(参観日や運動会など)以外の参観も歓迎しております。「①職員玄関の受付で事務室にお声がけ」「②『来校者記録』へ記入」「③『来校者名札』を首からかける」「④校内の参観」の手順でお願いします。

子ども達の学びの様子から



＜避難訓練＞

避難訓練を行いました。今回は、休み時間中の火災発生を想定して、自分がいる場所から一番近い集合場所を選んで集まり、子どもだけで避難する方法を学びながらの訓練でした。放送の指示をよく聞き、年が上の児童が先頭になって整列し、落ち着いて校庭に避難する姿がありました。岳南消防署の方からは「火災や地震の際、先生たちがいないときは自分たちで考え判断することが必要になること」「放送を静かに最後まで聞いていて素晴らしいこと」「『おはしも』を守ること」などのお話をいただきました。

＜5年「食育指導」＞

栄養教諭の田澤先生にお越しいただき、食育授業を行いました。授業のめあては「『あぶら』をとりすぎると体にどんな影響があるのか考えよう」でした。1日に必要な油の量は50～60gだそうです。いつも何気なく食べているものでも、食べ過ぎると何が起るのかを知ると、たくさん摂取することが本当に危ないことだと分かりました。子ども達からは「油をとりすぎず、ちょうどいい感じの量を食べていきたい」「魚を家であまり食べていなかったの、今後は気を付けたいです。おやつは一日一個と決めて食べるようにしたいです。」といった感想がありました。



音楽の大里先生はピアノで「千本桜」を披露してくれました♪



＜オープンステージ＞

高丘小学校の何でも発表会として「オープンステージ」が始まりました。全校誰でも、一人でも、友だちとでも、クラスでもいいので、全校の人に見てもらいたいことや聞いてほしいことを発表します。第1回目は1年生が「自分たちで校庭に秘密基地を作りたいのでいいですか？」と全校に投げかけてくれました。2年生以上の子ども達は質問したり「いいと思います」と意見を言ったりしてくれました。これからの「オープンステージ」も楽しみです。

＜児童会活動＞

7つある委員会は、年間通してそれぞれ当番活動をしています。例えば、「挨拶運動」や「アルミ缶集め」「放送当番」「生き物の世話」「図書当番」などです。1～3年生も高学年の姿を見て協力する姿があります。6年生を中心に、高丘小学校の児童会活動が充実しています。



＜仲良し体育館＞

代表委員会とスポーツ委員会の合同企画である2回目の「仲良し体育館」が行われました。低学年は「大縄跳び」、高学年は「王様ドッジボール」です。休み時間には、両日ともにたくさんの子ども達が集まり、楽しく活動していました。6年生はじめ、担当の4、5年生は、自分たちで考えた活動に喜んで参加してくれている友だちを見て嬉しそうでした。